

春のおとずれをつけるもの

～春一番とさくらの開花～

春一番

あたたかい春のイメージですけれど、春のあらしになることも…

九州北部地方では、立春から春分(今年は2月4日から3月20日)までの間に、初めて南より風(毎秒7メートル以上)がふき、気温が上がったときが春一番だ!



年	日
2015年	2月21日
2014年	ふいていない
2013年	3月1日
2012年	3月17日
2011年	ふいていない
2010年	2月25日
2009年	2月13日
2008年	ふいていない
2007年	2月14日
2006年	ふいていない
2005年	3月17日

1月下旬は数十年に一度という非常に強い寒気で、九州でも記録的な大雪や低温となりました。一年で一番寒いこの時期を過ぎると立春(春のはじまり)です。春をつけるものとして「春一番」と「むくらの開花」をご紹介します。

春一番は、季節が冬から春へと変わる時期に、初めて暖かい南よりの強い風のことを言います。

春一番というと、あたたかな春のイメージがありますが、日本海で低気圧が急速に発達して、全国的に大荒れの天気となることもあります。過去にも、暴風による被害、海や山での遭難、なだれやフェーン現象による大火事など、大きな災害となったことがあります。また、竜巻などの突風がふくこともあり、注意が必要です。



2016年 平成28年 2月5日 金曜日

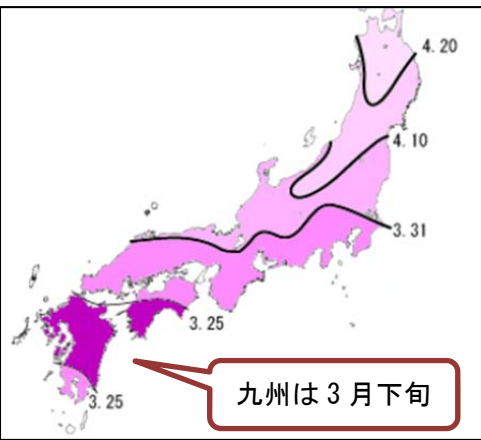
福岡管区气象台 〒810-0052
防災調査課 福岡市中央区大濠 1-2-36

電話 092-725-3614 (記事)
092-725-3600 (天気相談所)

メール fk-kanku@met.kishou.go.jp
(ご意見・ご要望はこちらまで)

気象観測の他に、動物・植物の観測もやっています

さくらの開花



さくらの開花日の平年値(1981-2010)観測の対象は、「そめいよしの」という品種。



さくらの標本木(2月1日撮影) 気象台の構内にあります。バックは大濠公園です。

全国にある気象台では、うめ・むくらの開花した日、かえでの紅葉や、いちようが黄葉した日、うぐいす・あぶらぜみの鳴き声を初めて聞いた日、つばめ・ぼたるを初めて見た日なども観測しています。

これらは生物季節観測とよばれ、長年観測することで、生物におよぼす気象の影響を知ることができます。また、季節の遅れ進みや、地域ごとの気候の違いなどを知ることができ、新聞やテレビなどでは、生活情報として利用されています。

春は、さくらの開花が話題になることが多いです。福岡では、福岡管区気象台の構内にある桜が5〜6輪咲いたときに「むくらの開花」が発表されます。昨年は、3月22日に開花しましたが、今年は何日に咲くのでしょうか。

- 春一番をはじめ、春のあらしは災害をもたらすことが多い。
- 過去にも春のあらしで大きな災害が発生している。
- さくらの開花などの観測により、季節の変化を知ることができる。

生物季節観測の記録

種目	最早	平年	最晩	2015
ひばり	初鳴 01月15日(1953年)	02月17日	03月27日(1981年)	02月04日
うぐいす	初鳴 02月04日(1959年)	03月04日	03月31日(1963年)	03月06日
つばめ	初見 02月24日(1962年)	03月24日	04月21日(1971年)	03月23日
もんしろちょう	初見 02月09日(1987年)	03月17日	04月24日(1957年)	03月15日
きあげば	初見 04月06日(1959年)	04月29日	06月09日(2010年)	04月28日
とのさまがえる	初見 03月29日(1959年)	05月11日	06月01日(2002年)	-

左の表は、動物の初めて鳴いた日(初鳴)、初めて見た日(初見)を観測した記録の一部です。観測される日の平年値(平年)、最も早かった日(最早)、最も遅かった日(最晩)を知ることができます。

このような生物季節観測の記録は、福岡管区気象台のホームページで見ることができます。

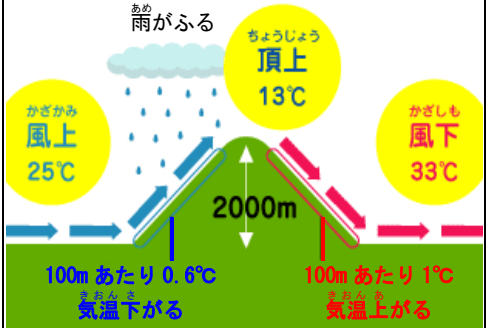
「お天気 Q&A」

Q: フェーン現象って何?

A: 「フェーン現象」とは、水蒸気をふくんだ空気が山をこえるときに、風下側で気温が高くなる現象のことです。

水蒸気をふくんだ空気は、山を上るときに、冷やされて、水蒸気が水(雨)に変化します。山の頂上まで来た風は、今度は、乾いた空気となって斜面にそって、山をおります。

湿度の違いにより、気温の変化する割合が違いますがフェーン現象の発生原因です。



気象情報へのアクセス

雨・雪がふっている場所は

ナウキャスト 検索

生物季節観測

生物季節観測 福岡 検索